

## 第5回 JFT 磯チヌ王座決定戦レポート

令和4年11月5,6日の日程で、第5回目となるJFT 磯チヌ王座決定戦が岡山県笠岡諸島で行われました。前年度4位までの王座選手と今年度磯チヌトーナメント上位4名の磯チヌ部会トップ8名総当たり対戦を行い、試合結果で勝敗を決定し、勝ちポイント及び得失釣果差で順位を決定する王座決定戦です。

試合時間は、1試合2時間とし1時間で場所を交代する規定で、時間内に釣り上げられたチヌ（クロダイ）の総重量で勝敗を決めます。勝ちポイント3点、引き分け及び両者釣果なしの場合は1ポイント、負けた場合は0ポイントとなります。

今年度は、勝ちポイントが2名で並んだ場合は、直接対決の結果を優先するように致しました。直接対決が引き分けの場合や3人以上で並んだ場合は、得失釣果差で順位決定する規定で試合が行われました。

いつもお世話になる“さかえ丸渡船”様の協力で、北木、白石島をメインに釣果を優先して磯選びを考えて頂いて安全に磯上がりさせて頂きました。

前月までの釣果結果は、例年に比べるとあまり良くなく厳しい釣果になると思われましたが、そんな心配をする事も無く、流石チヌ部会トップ選手は釣果を上げ試合を行いました。特に1日目の昼頃から西方向の風が非常に強くなり、風の影響で釣りが難しい状況になりました。

そんな状況の中、1日目に3勝1敗としたのが、吉田選手、内海選手で吉田選手は3試合目に3匹で4.92Kgと大型チヌを仕留め他選手を驚かせた。

続く山田選手は、2勝2分けと負け無し試合を継続中とし、広田選手、小松選手、脇選手が2勝2敗と後に続いた。

さて2日目となり第5試合では、山田選手が内海選手に勝利し3勝2分け、吉田選手と脇選手の試合、広田選手と西野選手の試合は、両試合共に釣果2対1となりましたが、価値ある1匹となる大型チヌを釣り上げ重量差で勝利した脇選手、広田選手が勝利し3勝2敗となりました。

6試合目は、小松選手が内海選手に勝ち3勝2敗1分けとし、山田選手と吉田選手の上位対決は、吉田選手が勝ち4勝2敗となり山田選手は3勝1敗1分けと大混戦になり最終戦まで優勝者がわからない状態となりました。

いよいよ最終第7試合となり、各選手気合いを入れ直し試合に挑みました。しかし、潮のタイミングがあまり良くなかったのか、釣果を上げる事が出来ませんでした。そんな中、価値ある釣果を出したのが小松選手で、山田選手に勝利し4勝2敗1分けとなって2日間の全7試合を終えた。

最終戦が終わり帰港して、2日間の対戦成績を集計し順位を確定した結果、4勝2敗1分けで吉田選手、小松選手が並びましたが、直接対決を制した吉田選手が優勝となりました。3位から5位は、3勝2敗2分けと並びましたが、得失釣果差で3位脇選手、4位広田選手5位山田選手となり6位内海選手となりました。今回は残念ながら釣果を得る事が出来な

かった副島選手、接戦を物に出来ず勝ちを得られなかった西野選手にもエールを贈りたいです。

沢山の協賛の品物を頂きました協賛メーカー様、ご協力頂きました“さかえ丸渡船”様、民宿さかえ様、お世話になりありがとうございました。